

取組 [2] 女性研究者の研究力向上とリーダー育成

1 第15回広島大学女性研究者奨励賞

広島大学では、女性研究者の研究意欲の一層の増進を図ることを目的に、平成19年度より「女性研究者奨励賞」を設け、研究費を有していない優秀な若手研究者に対して研究費の助成を行っている。厳正な審査の結果6件に同賞を授与し、研究費を総額で300万円措置した。

■2022(令和4)年度 第15回広島大学女性研究者奨励賞 受賞者一覧

氏名	配属	職名	研究課題名
畑野 紗希	病院	歯科診療医	ロモソズマブによる顎骨壊死発症の検証およびそのメカニズム解明の研究
ANJASHA GANGOPADHYAY	宇宙科学センター	助教	Understanding the physics of Luminous Red Transient astrophysical phenomena
蒲原 宏実	大学院先進理工系科学研究科	研究員	メタン関連新規環境技術のための微生物の機能解明
藤本 紗央里	大学院医系科学研究科	講師	就労女性が母乳育児を継続する上での課題と職場における母乳育児支援の利用実態とニーズ
西村 瑠美	大学院医系科学研究科	助教	口腔内感覚検査による「食べにくさ」の評価
Makokha Grace Naswa	大学院医系科学研究科	特任助教	Identification and analyses of novel host factors involved in hepatitis B virus infection

2 第6回広島大学女性研究者特定共同研究助成

若手女性研究者のリーダーシップの涵養を目的として、マツダ株式会社、デルタ工業株式会社、国際開発センターとの共同研究を募集し、厳正な審査の結果5件を採択し、研究費を総額250万円措置した。また、希望があった2名の研究者に広島大学から特定共同研究メンターを配置した。

■2022(令和4)年度 第6回広島大学女性研究者特定共同研究助成 採択者一覧

氏名	配属	職名	研究課題名
緒形 ひとみ	大学院人間社会科学部研究科	准教授	車中泊を想定した睡眠環境が若年女性の睡眠に及ぼす影響
坂田 のぞみ	IDEC 国際連携機構	助教	タンザニアにおける幼児教育が創出する今日的ムスリムネス
原田 亜紀子	IDEC 国際連携機構	研究員	デンマークにおける異文化教育に資する対話型民主主義教育
清家 美帆	大学院先進理工系科学研究科	助教	閉鎖空間内で車両火災に遭遇した際の避難挙動に関する研究
石田 万里	大学院医系科学研究科	准教授	Society 5.0 時代を見据えた椅子型血管機能測定機器実用化への試み 2

3

Micron Awards 令和4年度 広島大学マイクロン科学技術奨励金

理工系分野を専攻し、科学技術分野で活躍する意欲のある女性に奨励金を支給することによって、将来への意欲と希望を後押しすることを目的とし、マイクロン・テクノロジー財団の寄附金を受け、科学技術系を専攻する広島大学の女性の大学院生（博士課程前期1年）を対象とした公募を実施し、3名に奨励金を授与した。

また、授与式ではMicron Awardsを受賞したM1学生3名と広島大学女性科学技術フェローシップ制度で理工系女性M2奨学生に採択されたM2学生4名の研究発表、及び、広島大学の理工系女性研究者による講演を行った。

広島大学マイクロン科学技術奨励金・ 広島大学女性科学技術フェローシップ制度 授与式・講演会

- 日 時 / 2022(令和4)年12月15日(木) 13:00~14:15
- 場 所 / オンライン
- 参 加 者 / 57名
- 研究発表 / 受賞者7名による研究発表(各3分間)
- 講 演 / 理工系女性研究者による講演
「紐の絡み方の研究」
小鳥居 祐香(広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授)
「とりあえずやってみる(Just give it a try)」
岩本 洋子(広島大学大学院統合生命科学研究科 准教授)

令和4年度
Micron Awards
広島大学マイクロン科学技術奨励金
広島大学女性科学技術フェローシップ制度
授与式・講演会

Scholarships for Female Micron's Course Students in the Science and Technology Fields
at Hiroshima University

令和4年 12月15日(木) 13:00~14:15

13:00 研究者発表(博士課程前期1年:3名,2年:4名)
アンタ カロリン教授 広島大学大学院(2F414-594)4号室
広島大学高橋博
藤野 光夫先生
マイクロンメモリジャパン株式会社 榎本 貴子
賞状 谷本 洋子(広島大学)准教授

13:30 理工系女性研究者講演
小鳥居 祐香准教授 広島大学 大学院先進理工系科学研究科
岩本 洋子准教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科
質疑応答

14:10 閉会挨拶
榎田 良紗子 広島大学理学部 理学科物理教育課程 1年次 准教授

13:00 オンライン開催
高校生、学生(学部生・大学院生)、
教職員、一般のみなさまの
ご参加を歓迎いたします。

12月14日(水)17:00までに、下記URLまたはQRコードから
<https://forms.office.com/r/twr6JeXcVb>

参加者の声(抜粋)

- 研究内容の話がとてもわかりやすくてよかった。参加者が積極的に話をしていることもよかった。
- 採択者の発表はそれぞれ生き生きしている様子を感じ、私自身も負けていけないと刺激になった。
- 質疑応答の際は、講演者がカメラをつけたり消したりが忙しそうなので、登壇者等は一律に顔を出して、討論をすればより活発になるのではと感じた。
- 理系の女性研究者の活躍の発表を聴講し、研究に没頭できる環境(物理的・精神的)を学生時代から整える支援の拡充が必要なのかなと僭越ながら思った。
- 各人それぞれ発表の粒度が異なっていたが、スライド一枚と発表内容の粒度はある程度揃っていたほうがよいのかなと思った。ただ、個性の豊かさを消してしまう恐れもあるので、もしかしら今回がリーズナブルなフォーマットだったのかもとも思える。
- オンラインで時間もさほど長くないので聴きやすかった。なるべく多様な方々にこの取り組みを知っていただけたらよいと思う。

4

英語論文執筆セミナー (Nature Research Academies Workshop)

- 日 時 / [一 般] 2022(令和4)年10月25日(火) 10:00~12:00,15:00~17:00・2022(令和4)年10月27日(木) 10:00~12:00
[自然科学系] 2022(令和4)年10月28日(金) 10:00~12:00,15:00~17:00・2022(令和4)年10月31日(月) 10:00~12:00
[医 療 系] 2022(令和4)年11月5日(土) 10:00~12:00,15:00~17:00・2022(令和4)年11月6日(日) 10:00~12:00
- 場 所 / オンライン
- 講 師 / Dr.Jeffrey Robens
- 参 加 者 / [一 般] 78名(広島大学72名,メンバー機関6名)
[自然科学系] 33名(広島大学29名,メンバー機関4名)
[医 療 系] 8名(広島大学8名)
- 内 容 / 一般,自然科学系,医療系の3分野にわたり、Nature誌の編集経験者によるインタラクティブな論文執筆ワークショップを開催した。

参加者の声(抜粋)

- Everything was conducted well and the information was very important.
- Thanks for the talk and clarification of many points on how to organize the structure of a manuscript and take care regarding ethics in research.
- I learnt a lot from the webinar. Currently, I am writing an article. It helps me to look back on my article and see which part should be improved.
- I appreciated the variety of ways I could communicate my ideas and answers, such as the voting system and posting in the chat room.
- Thank you for the excellent workshop, I learnt a lot. I hope I can join this kind of workshop again.
- This workshop was very educative, I was surprised with most of the content and how much I didn't know. This has really built up my confidence as a researcher and gave me a stepping stone to one of the most important steps for me as a researcher. Everything was well articulated and inclusive.
- The workshop is the most useful seminar on academic writing I have ever taken. While the seminar was divided into three sections, each emphasis was simple and easy to understand. I could learn what I should and should not do when writing a paper for international journals.



Nature Research Academies Workshop

Nature Research Academiesは、Nature誌を出版するSpringer Nature社の講師によるインタラクティブな論文執筆ワークショップ・講義です。以下の3つの分野別コースについて、3部構成のウェビナー形式で開催します。学内外問わず、英語論文執筆について学びたい研究者の方はどなたでも申込みいただけます。大学院生の参加も歓迎します。(定員：各分野100名、言語：英語、参加費：無料)

コース	カリキュラム	申込リンク
General	10/25(火) 10:00~12:00 / 15:00~17:00 Publishing Ethics / Effective Academic Writing	https://forms.gle/7UuBtHNDuTKQGC7XQA
	10/27(木) 10:00~12:00 Logical Manuscript Structure	
STEM	10/28(金) 10:00~12:00 / 15:00~17:00 Logical Manuscript Structure / Successful Submission Strategies	https://forms.gle/wJ8H3UGWjW2Ea36
	10/31(月) 10:00~12:00 Navigating Peer Review & Monitoring Impact	
Clinicians	11/5(土) 10:00~12:00 / 15:00~17:00 Logical Manuscript Structure / Successful Submission Strategies	https://forms.gle/khrAR8Ty32fGbufo7
	11/6(日) 10:00~12:00 Navigating Peer Review & Monitoring Impact	

申込締切：2022年10月17日(月) 17時00分 締切

主催：広島大学 学術・社会連携室
 共催： 本学を拠点とする研究プラットフォーム「HIRAKU」/ 国際型ダイバーシティ研究推進実践プログラム「CAPWR」/ 海外研究者による世界トップクラスの研究者養成プログラム「Global」/ 広島大学大学院リサーチフェロシップ制度 / 広島大学附属近代文化研究機構・支援プログラム、広島大学附属フェロシップ制度に創設による次世代の産学連携

Email: gakuju-project@office.hiroshima-u.ac.jp

5 若手研究者のための英語プレゼンテーションセミナー

- 日 時 / 2022(令和4)年12月16日(金) 10:00~17:00 (休憩13:00~14:00)
2022(令和4)年12月17日(土) 10:00~17:00 (休憩13:00~14:00)
- 場 所 / 広島大学 東広島キャンパス(16日)、霞キャンパス(17日)
- 講 師 / 西田 健治(株式会社インソース)
- 参 加 者 / [東広島キャンパス] 12名(広島大学11名、マツダ1名)
[霞キャンパス] 3名(広島大学3名)
- 内 容 / プレゼンテーションの基本を学んだうえで、英語で実施する場合のポイントを押さえ、学会・交渉問わず実用的な知識を身に付ける実践的なセミナーを開催した。

参加者の声(抜粋)

- 「プレゼンとは」からかみくだいて説明して下さったのが、これまでにない機会で、ためになった。
- 発表の機会も多く良いフィードバックが得られた。
- グループワークを行うことで他の参加者の発表から多数の気づきを得ることができた。
- 何分のプレゼンを行うか事前に教示いただけると、それに合わせ内容も準備できると思う。その場で提示された時間で発表できるようまとめる能力も高めていきたい。
- もう少しワークの時間があれば、より実践的になって良かったと思ったが、全く不満はなく、研修を受けられたことに感謝している。
- 学会発表などで活かして、企業との共同研究などにつなげたい。
- 同様の研修があれば、ぜひ、紹介していただきたい。



若手研究者のための
英語プレゼンテーションセミナー

プレゼンテーションの基本を学んだうえで、英語で実施する場合のポイントを押さえ、学会・交渉問わず実用的な知識を身に付ける実践的な研修です。ぜひ積極的に申し込みください。

日時 2022年12月16日 10~17時 (休憩13~14時)
場所 (東広島キャンパス 法人本部棟2階会議室)

2022年12月17日 10~17時 (休憩13~14時)
場所 (霞キャンパス 歯学部中会議室)

参加費 無料 定員 先着15名様

申込 URL: <https://forms.gle/Q4bPAgDbF4niGUPM6>
※締切: 定員に達し次第終了

備考
・本セミナーは日本語で実施します。日本語が十分に理解できない場合は、参加できませんのでご注意ください。
・セミナー中はマスクの着用が必要です。
・事前の課題があります。詳細は申込リンク内の記載をご確認ください。

第1部 10:00~13:00 プレゼンテーション編
第2部 14:00~17:00 パワーポイント編

講師 西田 健治 (株式会社インソース 講師)

お問い合わせ
広島大学 学術・社会連携室 学術・社会連携部
E-mail: gakuju-project@office.hiroshima-u.ac.jp

主催: 広島大学 学術・社会連携室
 共催: 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業「広島大学大学院リサーチフェロシップ制度」
 次世代研究者候補的プログラム「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」
 ダイバーシティ研究推進実践イニシアティブ「特性対応型」「女性科学者フェロシップ制度の創設による次世代の産学連携」
 ダイバーシティ研究推進実践イニシアティブ「創発型」「国際型ダイバーシティ研究推進実践プログラム「CAPWR」」
 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業「未来を拓く地方創生プラットフォーム「HIRAKU」」
 世界で活躍できる研究者候補育成事業「地方協働による世界トップクラスの研究者育成「HIRAKU-Global」」

6

広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」

女性の活躍の場を広げ、社会全体の活力向上に貢献した個人および団体を顕彰することを目的に2013（平成25）年に広島大学で創設。メタセコイアはあらゆる場所で生息できる強い生命力と、成長の早さが特徴の植物で「生きた化石」という別名を持つ。このメタセコイアの樹木のように、女性が個性と能力を存分に発揮し、世界で力強く活躍することを願い「メタセコイア賞」と名付けている。

第8回 広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」受賞式及び受賞講演会

- 日 時／2022(令和4)年6月27日(月) 14:00～15:30
- 場 所／オンラインによるライブ配信
- 受賞者・講演者／今田 美穂(株式会社今田酒造本店 代表取締役・社氏)
- 視 聴 者／ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業の共同実施機関、メンバー機関、全国のダイバーシティ事業に携わる機関、本学教職員・学生、一般の方
- 受 賞 理 由／長らく女人禁制とされ女性が入り出ることを固く禁じていた日本の酒蔵で、伝統を引継ぐ数少ない女性社氏として活躍するその姿は、授与の基準(4)「自ら活力向上を先導した女性」として認められるため、同賞の受賞に至った。

※2020年度の受賞者、今田美穂氏の受賞式及び受賞講演会は、酒造の繁忙期等を考慮し、2022(令和4)年6月に開催。



(越智学長(左)と今田氏(右))



(講演会の様子)



(フク副学長(ダイバーシティ担当)より花束を贈呈)

第9回 広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」受賞式及び受賞講演会

- 日 時／2023(令和5)年1月20日(金) 13:30～15:30
- 場 所／オンラインによるライブ配信
- 受賞者・講演者／中丸 三千繪(オペラ歌手)
- 視 聴 者／ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業の共同実施機関、メンバー機関、全国のダイバーシティ事業に携わる機関、本学教職員・学生、一般の方
- 受 賞 理 由／音楽家としての厚労、将来を担う若手への指導・啓発・貢献、音楽文化振興・グローバル発信への貢献、チャリティ社会活動の実践、その活動力、貢献度は群を抜いている。氏の長年に渡る先進的な取り組みは、活動の場を広げていきたい後進の女性のロールモデルとなっており、世界的への挑戦や活躍を促進するその姿は、授与基準(3)「女性の活躍を支援したと認められる個人又は団体」として認められるため、同賞の受賞に至った。



(越智学長(左)と中丸氏(右))



(講演の様子)



(フク副学長(ダイバーシティ担当)より花束を贈呈)